

令和 6 年 度 着 手

飯谷地区 区画整理事業 変更計画概要書

【 県 営 経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業 （ ほ 場 ） 】

（ 令 和 8 年 度 第 1 回 変 更 ）

事 業 主 体 福 井 県

令和6年度着工 区画整理事業 甕谷地区 県営経営体育成基盤整備事業(ほ場)

変 更 理 由 書

I.変 更 の 内 容

1. 地 積

現 況 単位：ha

地 目 換地区名		田	畑	その他	道水路敷	計
全区	変 更 前	41.5	—	—	6.7	48.2
	変 更 後	41.9	—	0.1	6.3	48.3
	増減 (△)	0.4	—	0.1	△ 0.4	0.1
	変 更 前					
	変 更 後					
	増減 (△)					
計	変 更 前	41.5	—	—	6.7	48.2
	変 更 後	41.9	—	0.1	6.3	48.3
	増減 (△)	0.4	—	0.1	△ 0.4	0.1

計 画 単位：ha

地 目 換地区名		田	畑	その他	道水路敷	計
全区	変 更 前	41.5	—	—	6.7	48.2
	変 更 後	41.7	—	0.1	6.5	48.3
	増減 (△)	0.2	—	0.1	△ 0.2	0.1
	変 更 前					
	変 更 後					
	増減 (△)					
計	変 更 前	41.5	—	0.0	6.7	48.2
	変 更 後	41.7	—	0.1	6.5	48.3
	増減 (△)	0.2	—	0.1	△ 0.2	0.1

2. 主 要 工 事 計 画

区画整理事業

項 目		変 更 前	変 更 後	備 考
全区	整地工	41.5 ha	41.7 ha	0.2ha増
	道路工	0.4 km	0.4 km	—
	用水路工	3.3 km	4.7 km	1.4km増
	排水路工	2.0 km	2.0 km	—
	暗渠排水工	30.4 ha	30.4 ha	—

3. 事業費 (千円)

区 分	変 更 前	変 更 後	増 減
事業費	960,000	1,230,000	270,000
測量試験費	71,000	101,000	30,000
用地費及び補償費	5,000	5,000	0
換地費	64,000	64,000	0
計	1,100,000	1,400,000	300,000

4. 工事予定期間

	(")
着 工	令 和 6 年 度
	(")
完了予定	令 和 11 年 度

II. 計画変更を必要とする理由

1. 主たる変更理由

整地工について、埋蔵文化財調査の結果、遺構が見つかり福井県埋蔵文化財調査センターとの協議の結果、遺構を残すこととなったことから、保護盛土として客土工を増としたい。
 用水路工について、埋蔵文化財の保護盛土に伴い計画田面高が嵩上げとなり、当初計画であった低圧パイプライン方式（樹枝配管）での施工が困難となったことから、揚水機による加圧パイプライン方式（管網配管）に変更するため増工としたい。

2. 主要工事の変更

(単位：千円)

【事業量変更】		
区画整理	・ 遺構が見つかり、協議の結果遺構を残すため、保護盛土として客土工の増。	157,000
	・ 埋蔵文化財の保護盛土に伴い計画田面高が嵩上げとなり、低圧パイプライン方式（樹枝配管）での施工から揚水機による 加圧パイプライン方式（管網配管）に変更することによる増.	
測量試験費	・ 上記変更に伴う増。	30,000
【自然増】		
		113,000
	計	300,000

3. 事業費の変更 (千円)

自 然 増 減	113,000
事業量変更	187,000
計	300,000

第1章 目 的

変 更 な し

本地区の農業基盤は、昭和42～48年にかけて県営ほ場整備事業 天王川左岸地区にて30a区画に整備された。しかし、整備後約50年経過し、老朽化による機能低下が著しい状況である。また、本地区の農業は農事組合法人を中心に集積が進んでいるが、現在、農業従事者の高齢化、農業離れが著しいため、農業に対する意欲や関心が薄れてきている状況である。

よって、地区内の農地を保全していくため、圃場の大区画化、安定した農業用水の確保及び供給、排水路及び暗渠排水の整備による乾田化を図り、大型農業機械の導入、土地利用型農作物に対する営農労力の低減を図り、地域農業経営体への農地利用集積を促進する。

更に、農作物の品質確保と収量の安定化を図り、水田への園芸作物の導入を推進し、地域農業構造の改善を図る。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

変 更 な し

福井市 ： 飫谷町 地係

第2節 地 積

事業名 地 目 市町村名	区 画 整 理 事 業						備 考
	田 (ha)	畑 (ha)	樹 園 地 (ha)	非農用地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	
福 井 市	(41.5) 41.9	(") —	(") —	(—) 0.1	(6.7) 6.3	(48.2) 48.3	
計	(41.5) 41.9	(") —	(") —	(—) 0.1	(6.7) 6.3	(48.2) 48.3	

第3節 現 況

1. 気 象

変 更 な し

観 測 所 名	福 井 観 測 所	か ん が い 期	非 か ん が い 期	計 また は 平 均 (年 間)
観 測 期 間	H 23 ～ R 2	5 月 ～ 9 月	1 0 月 ～ 4 月	
平 均 気 温 (℃)		23.8	8.9	15.1
平 均 降 水 量 (mm)		194	207	202
平 均 降 水 日 数 (日)		11	17	15
根 雪 期 間		1 2 月 ～ 3 月		— 日 間
無 霜 期 間		4 月 ～ 1 1 月		— 日 間
最 多 風 向	WNW (西北西)	最 大 風 速		21.8 m/ s

2. 地 形 地 質

変 更 な し

本地区の地形は標高8～10m、勾配1／220～4200（主傾斜1／550）となっている。

3. 水 利 状 況

変 更 な し

本地区の用水は、一級河川 天王川を水源とし、幹線用水路である七郷用水から支線用水路を経て地区内を灌漑している。また、渇水期においては、七郷用水の末端の地区であることから、水不足が著しく、用水管理に苦慮している状況であるため、日野川パイプラインの補給水も利用し、地区内を灌漑している。

本地区の排水は、支線排水から幹線排水路である甑谷排水を経て、天王川左岸排水機場より天王川へ排水されている。

4. 営 農 状 況

変 更 な し

本地区の農業は、認定農業者（農地所有適格法人：1組織、担い手：1名）を主体に農地集積が進んでいる。しかし、農業従事者の高齢化、農業離れが著しく、農業に対する意欲や関心が薄れてきている状況である。

5. 地域環境の概略

変 更 な し

本地区は、一級河川 天王川の左岸に広がる平地農業地域であり、豊かな自然に囲まれた地区となっている。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

1. 要 旨

変更なし

本事業により、圃場の大区画化や老朽化した農業用排水路を整備するとともに、暗渠排水による農地の汎用化を図り、生産基盤の維持・保全に努め、担い手による農地利用集積及び流動化を促進する。また、農地の集団化及び経営の広域化を図り、地域農業の活性化及び効率的で安定した農業経営を確立する。

2. 事業別面積

土地利用区分 事業目的	区 画 整 理 事 業					計 (ha)	備 考
	旧 田 (ha)	新規田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	その他 (ha)		
区 画 整 理	(41.5) 41.7	(") —	(") —	(") —	(6.7) 6.6	(48.2) 48.3	
計	(41.5) 41.7	(") —	(") —	(") —	(6.7) 6.6	(48.2) 48.3	

第2節 営 農 計 画

変更なし

水稻＋大麦・そば・大豆を中心に、レタス・はくさい・スイートコーン・ねぎの作付拡大を図ることで、農業経営の合理化、安定した農業経営の確立を図る。

第3節 環境との調和への配慮

変更なし

本事業を施工するにあたり、排気ガス対策型建設機械、低騒音・低振動型建設機械の使用に努め、大気環境へ配慮する。また、ドライ施工を原則とし、天候に応じた工程により、水質の保全や水環境及び生態系等に十分な配慮を行う。施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第4節 計画基本事項

1. 区画整理事業

ア) 用水計画	変更なし
かんがい期間	---- 3月26日～9月5日（代掻期4月26日～5月5日）
日減水深	---- 代掻減水深150mm、管理減水深20～23mm
連続干天日数	---- 29日 福井地方気象台福井観測所、平成4年～令和3年（30年間）
イ) 排水計画	変更なし
観測期間	---- 福井地方気象台福井観測所 平成4年～令和3年（30年間）
確率日雨量	---- 1/2 93.1 mm/日 1/10 141.8 mm/日
単位排水量	---- 【4時間雨量4時間排除】 1/2 平地： 1.19 宅地： 1.98 山地： 1.98 m ³ /s/km ² 1/10 平地： 1.81 宅地： 3.02 山地： 3.02 m ³ /s/km ² 【合理式】 1/2 平地： 2.38 宅地： 3.96 山地： 3.96 m ³ /s/km ² 1/10 平地： 3.62 宅地： 6.03 山地： 6.03 m ³ /s/km ²
ウ) 暗渠排水計画	変更なし
計画諸元	---- 地表残留水50mm、4時間排除
単位排水量	---- 0.0061 m ³ /s/ha

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

1. 区画整理事業

ア) 整地工	---- A =	(41.5) (基盤切盛、基盤整地、表土扱い) 41.7 ha (客土、基盤整地、表土扱い)
イ) 排水路工 支線排水路更新	---- L =	(") (HF-500～700×500～900) 2.0 km (HF-500～700×500～800)
ウ) 用水路工 支線用水路更新	---- L =	(3.3) (塩ビ管 VUφ150～350) 4.7 km (塩ビ管 VUφ100～300) (—) (—)
揚水機場工	---- N =	1.0 式 (φ250×3.05m ³ /min×15.0m×15kw×2台)
エ) 道路工 舗装工	---- L =	(") (") 0.4 km (4.0[5.0]m)
オ) 暗渠排水工 本暗渠	---- A =	(") (") 30.4 ha (ポリ管φ50～75mm、モミガラ)

第2節 予定工期

(") (")
令和 6 年 ～ 令和 11 年

第3節 管理の要領

変更なし

本事業により設置された農業用排水施設は、福井朝日土地改良区が管理する。また、暗渠排水施設は農家が管理する。

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

変 更 な し

所有権に基づいた集団化を行うとともに、利用権が設定されている農用地については、借り手農家の経営農用地の隣接地にできるだけ集積することで、面的集積を行い低コスト農業を目指す。

第2節 換地計画樹立の基本方針

変 更 な し

1. 従前の土地の地積の基準

換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補または土地家屋調査士の測量した実測図および隣接土地所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出のあった地積とする。

変 更 な し

2. 農用地集団化の方法

区 分 換地区	地 帯 別 グ ル ー プ 別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 選 択	1 戸 当 た り 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い
全 工 区	営農グループ別 集団化	換地は、各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に定める。 グループ別集団化との調整を図り、換地の位置を選定し、集団化を図る。	各農家の農用地は、出来るだけ大規模に集団化するものとし、1戸当たりの団地数は、おおむね3団地を目標とする。	固 定 畦 畔

3. 非農用地の換地方針

変 更 前

該当なし

変 更 後

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者
全 区	鉄塔用地	福井市甕谷町17字24-2番地	345	特定用途用地換地	北陸電力送配電株式会社
	鉄塔用地	福井市甕谷町24字19-11番地	289	特定用途用地換地	北陸電力送配電株式会社
	鉄塔用地	福井市甕谷町25字13-2番地、14-2番地	494	特定用途用地換地	北陸電力送配電株式会社
	鉄塔用地	福井市甕谷町27字5-2番地	524	特定用途用地換地	北陸電力送配電株式会社

4. 清算の方法

変 更 な し

比 例 地 積 清 算 方 式

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入に係る地積

単位:ha

用途 \ 区分	機能交換に係る土地				一般	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計	国有地	
道 路	(")	(")	(2.9)	(4.0)	(")	(4.0)
	—	1.1	2.5	3.6	—	3.6
水 路	(")	(")	(")	(")	(")	(")
	—	—	2.7	2.7	—	2.7
計	(") —	(") 1.1	(5.6) 5.2	(6.7) 6.3	(") —	(6.7) 6.3

第4節 換地処分の特則

変 更 な し

換地区に係る地域について区画変更工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項前段にかかわらず、換地処分を行うことができる。

第6章 費用の概算

(5)

令和 8 年度価格(千円)

工 区	事 業 費	事 務 費	総 事 業 費	備 考
全 工 区	(1,100,000) 1,400,000	—	(1,100,000) 1,400,000	
計	(1,100,000) 1,400,000	—	(1,100,000) 1,400,000	

第7章 効 用

(5)

令和 8 年度価格(千円)

区 分	年 総 効 果 (便 益) 額	年 増 加 農 業 所 得 額	備 考
食料の安定供給の確保 に 関 する 効 果	(95,122) 122,262	(83,126) 87,736	
作 物 生 産 効 果	(19,422) 25,131	(2,293) 2,775	
営農経費節減効果	(75,918) 97,783	(78,488) 82,658	
維持管理費節減効果	(△ 218) △ 652	(2,345) 2,303	
農 村 の 持 続 的 発 展 に 関 する 効 果	(") —	(") —	
	(") —	(") —	
農 村 の 振 興 に 関 する 効 果	(") —	(") —	
	(") —	(") —	
多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 する 効 果	(1,893) 2,822	(") —	
景観・環境保全効果	(1,893) 2,822	(") —	
そ の 他 効 果	(4,607) 5,025	(") —	(1.18) 総費用総便益比： 1.10
国産農産物安定供給効果	(4,607) 5,025	(") —	(23.6) 総所得償還率： 27.4 %
計	(101,622) 130,109	(83,126) 87,736	(1.4) 増加所得償還率： 2.2 %

第8章 他の事業との関連

変 更 な し

事 業 名：県営ストックマネジメント事業 甌谷地区
工 期：令和4年度～令和7年度
事業工種：農業用排水施設事業
本事業との関連：排水機場の更新及び補修

第9章 計画概要図

別 添 図 面 参 照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

(1, 100, 000) (1, 100, 000)
 1) 総事業費 1, 400, 000 千円也 [事業費 1, 400, 000 千円也]

2) 負担区分

(千円)

区 分		補 助 率	金 額	計	
国 庫 補 助	事 業 費	(") 50.00 %	(5 5 0, 0 0 0) 7 0 0, 0 0 0	(5 5 0, 0 0 0) 7 0 0, 0 0 0	
	事 務 費	(") — %	(") —		
県 費	事 業 費	(") 39.00 %	(4 2 9, 0 0 0) 5 4 6, 0 0 0	(4 2 9, 0 0 0) 5 4 6, 0 0 0	
	事 務 費	(") — %	(") —		
分 担 金	福 井 市	事 業 費	(") 6.00 %	(6 6, 0 0 0) 8 4, 0 0 0	
		事 務 費	(") — %		(") —
		事 業 費			
		事 務 費			
	地 元	事 業 費	(") 5.00 %	(5 5, 0 0 0) 7 0, 0 0 0	(5 5, 0 0 0) 7 0, 0 0 0
		事 務 費	(") — %	(") —	
計				(1, 1 0 0, 0 0 0) 1, 4 0 0, 0 0 0	

2 地元負担の予定基準

変 更 な し

地 積 割 で 賦 課 す る

3 負担団体

変 更 な し

福 井 市
福 井 朝 日 土 地 改 良 区

甕谷地区 県営経営体育成基盤整備事業(ほ場)によって造成された施設の予定管理方法

1 管 理 者

福井朝日土地改良区

2 管理すべき施設の種類の種類

種 類	名 称	位 置	施 設 の 規 模	備 考
施 設 機 械	甕 谷 揚 水 機 場	福 井 市 甕 谷 町	水 中 渦 巻 傾 流 ポ ン プ φ 150×3.05m ³ /min× 15.0m×15kW×2台	

3 貯水、放流、取水又は排水に関する基本的事項

本地区における農業用水は、一級河川天王川より取水し、揚水機にて地区内をかんがいする。

4 管理に要する費用の概算

(ー)

(1) 費 用 の 概 要

令和 8 年度価格

種 類	年 間 維持管理費	耐用 年数	耐用年数間の 合 計	10 a 当 り 年 負 担 額	備 考
(ー) 揚 水 機 場	(ー) 431 千円	(ー) 20	(ー) 8,620 千円	(ー) 20,671 円	(ー) A= 41.7 ha

(2) 負 担 の 方 法

受益の地積割りに賦課する。

5 その他管理方法に関する基本的事項

施設の管理は福井朝日土地改良区が定める管理規程に基づいて行う。

一 定 地 域 調 書
(県 営 土 地 改 良 事 業)
(変 更 前)

甕 谷 地 区

一 定 地 域 調 書

経営体育成基盤整備事業（ほ場） 甕谷地区

市町名	大 字	字番	地 域						
福井市	甕谷	17	2-2	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	6
			7-1	7-2	7-3	8	9	10	11
			12	13	14	15	16	17	18
			19	20-1	20-2	21	22-1	22-2	22-3
			23-1	23-2	24-1	26	27	28-1	28-4
			29	30	31	32	33	34	35
		18	1の一部	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13	14
			15	16	17-1	17-2	17-3	18	20
			21	22	23				
		19	1の一部	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13の一部	14
			15	17	18	19			
		20	7	8	9	10	11	15	16
			18	20	21	22	23	24	25
			26	27	28	29	30		
		21	1	2	3	4	5	6	7
			8	9-1	9-2	10	11	12	13
			14						
		22	1	2	3	4	5-1	5-2	5-3
			5-4	5-5	6	7	8	9-1	9-2
			10-1	10-2	11-1	11-2	11-3	12	13
			14-1	14-2	14-3	14-4	15	16	17
			18	19	20	21	22	23	
		23	1	2	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5
			4	5	6	7	8	9-1	9-2
			9-3	9-4	10-3	11-1	11-2	12	13
			14	15	16	17	18	19	20
			21	22					
		24	1	2	3	4-1	4-2	4-3	4-4
			5-1	5-2	6-1	6-3	7-2	7-3	8-2
			10	11	12	13-1	13-2	13-3	14-1
			14-3	15-1	15-3	15-4	15-5	16-2	16-3
			17-2	17-3	18-2	18-3	19-1	19-6	19-7
			19-8	19-9	19-10	20	21	22	23

一定地域調書

経営体育成基盤整備事業（ほ場） 甕谷地区

[illegible]

一 定 地 域 調 書
(県 営 土 地 改 良 事 業)
(変 更 後)

甕 谷 地 区

一 定 地 域 調 書

経営体育成基盤整備事業（ほ場）甕谷地区

市町名	大 字	字番	地 域						
福井市	甕谷	17	2-2	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	6
			7-1	7-2	7-3	8	9	10	11
			12	13	14	15	16	17	18
			19	20-1	20-2	21	22-1	22-2	22-3
			23-1	23-2	24-1	24-2	26	27	28-1
			28-4	29	30	31	32	33	34
			35						
		18	1	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13	14
			15	16	17-1	17-2	17-3	18	20
			21	22	23				
		19	1	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13の一部	14
			15	17	18	19			
		20	7	8	9	10	11	15	16
			18	21	22	23	24	25	26
			27	28	29	30			
		21	1	2	3	4	5	6	7
			8	9-1	9-2	10	11	12	13
			14						
		22	1	2	3	4	5-1	5-2	5-3
			5-4	5-5	6	7	8	9-1	9-2
			10-1	10-2	11-1	11-2	11-3	12	13
			14-1	14-2	14-3	14-4	15	16	17
			18	19	20	21	22	23	
		23	1	2	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5
			4	5	6	7	8	9-1	9-2
			9-3	9-4	10-3	11-1	11-2	12	13
			14	15	16	17	18	19	20
			21	22					
		24	1	2	3	4-1	4-2	4-3	4-4
			5-1	5-2	6-1	6-3	7-2	7-3	8-2
			10	11	12	13-1	13-2	13-3	14-1
			14-2	14-3	15-1	15-2	15-3	15-4	15-5
			16-1	16-2	16-3	17-1	17-2	17-3	18-1

一 定 地 域 調 書

経営体育成基盤整備事業（ほ場）甕谷地区

[illegible]